

## 2021年度 第2回 東北大学 大学教員準備プログラム募集要項 Tohoku University Preparing Future Faculty Program (Tohoku U. PFFP)

主催：東北大学 高度教養教育・学生支援機構

現代の大学教員は、研究、教育、管理運営、社会貢献など幅広い役割をこなさなければなりません。しかし、大学院での指導は主に研究能力の形成が中心となっており、教育能力を形成する機会は十分ではありません。

あらためて言うまでもなく、教育活動には、授業設計や効果的な教授法、授業の運営、学生指導、成績評価など様々な知識やスキルが求められます。しかしながらほとんどの大学院生は、大学教育に関する基礎的な知識や技術を身につける機会がないまま教員となり、実際の教育活動を経験することによってしか学ぶ機会がないというのが実情です。近年の大学教授職の就職には、面接のほかシラバスの提出や模擬授業の実施が求められることも多く、事前に一定の教育能力を有していることが前提となっている場合も少なくありません。

東北大学 高度教養教育・学生支援機構では、教育関係共同利用拠点事業として、2010（平成22）年度より「東北大学 大学教員準備プログラム(Tohoku U. PFFP)」を実施しています。このプログラムは、大学教員を目指す大学院生が大学教員に求められる能力や知識を実践的に学び、効果的な省察力を身につけ、円滑に初期キャリアを積んでいく事を支援するものです。また、次世代の大学を担う仲間として、専門分野を超えたネットワークづくりを支援するものでもあります。

なお、本プログラムは2022年度より運用される「東北大学の新しいTA制度」におけるTF（ティーチング・フェロー）の資格要件にもなっています。またプログラム修了者には修了認定書を授与します。同認定書はアカデミック・キャリア公募の際、大学での教育経験を示す証明として、履歴書等に記載・添付することが可能です。

本学に所属する大学院生やポストドクトラルフェローといった方々の積極的な受講をお待ちしています。

### プログラム内容の詳細や関連する情報について

下記URLにてプログラム内容の詳細や関連する情報を公開しております。ぜひ御覧ください。なお過年度実施分や今年度前期実施分とはプログラムの内容や提供形態が大きく異なります。この点、ご注意ください。

大学教育支援センターウェブサイト  
<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/pffp/>



## 1. プログラムの概要

下記の内容を予定しています。なお受講者の状況に応じて内容を変更することがあります。

回	日程・形態 <sup>※1</sup>	内容
第1回	2/28 (月) オンライン	<p>午前</p> <p>●オリエンテーション</p> <p>PFFPの開講です。最初にプログラムの目的や内容、到達目標、4日間のスケジュール等について説明を行います。その後受講者1名ずつ自己紹介を行っていただき、受講者間の相互理解を図ります。相互理解が進んだ段階で、これからの大学教育や目指す大学教員像について受講者間で自由にディスカッションを行い、これからの大学教員に必要な資質について検討します。</p>
		<p>午後</p> <p>●大学教育の歴史</p> <p>●現代高等教育と大学教員の仕事</p> <p>大学教員の仕事は多岐にわたりますが、その中でも講義や授業、演習といった教育活動は、最も重要な仕事・役割の1つであると言えます。とくに近年の日本の大学教育では、教育の質的向上が強く求められており、大学全体、学部・研究科、学科、個人の各授業など、さまざまなレベルで授業の質改善が求められています。こうした現代の大学教育に期待されている点について、大学教員として最低限理解しておくべき事項を踏まえながら、これからの大学教育に求められる点について、受講者間で検討し理解を深めます。そして大学教育も含めた大学教員の仕事総体についても、専門領域が異なる受講者間で検討し、同様に理解を深めます。</p>
第2回	3/1 (火) オンライン	<p>午前</p> <p>●現代の学生と学習理論・アクティブラーニング</p> <p>大学教員として教育研究活動を円滑に進めるためには、現代の大学生に対する理解が求められます。「学生支援・学習支援」と言っても、その意味するところは多様であり、学生の悩みやメンタルヘルス、ダイバーシティ、大学の国際化や外国人留学生の受入など、課題によっては一人での解決が難しいこともしばしばです。また授業運営においても、国立と私立、大学の規模、授業内容その他さまざまな条件によって、学生の主体的学びを喚起する効果的な教授方法（アクティブラーニング）を選択する必要が生じます。この授業回では以上の点について必須の知識を習得し、実践での利用可能性について検討します。</p>
		<p>午後</p> <p>●シラバスと授業設計・成績管理</p> <p>大学で授業を行う際には、シラバスの作成が必須となります。シラバスに記載すべき事項には何があるでしょうか。またその記載事項それぞれに関して、具体的に何を理解しておくべきでしょうか。さらにはどのように記述すべきでしょうか。この回では受講者が実際に大学で授業を受け持つことを想定して、1つの授業のシラバスを作成してもらいます。その過程で、単位制度の実質化（学習時間）や成績評価、インストラクショナルデザイン、コースデザインといった点を学びます。さらには模擬授業の実施に向けた1回分の授業デザイン（クラスデザイン）についても、その要点をOJT（On the Job Training）形式で学びます。</p>

休み	3/2 (水) ※1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各自でシラバスやクラスデザインを作成 (前日授業の続き)</li> <li>●模擬授業 (発表時間は一人につき10~20分程度を予定*受講者数により調整) の準備</li> </ul>
第3回	3/3 (木) 対面※2	<p>午前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●模擬授業①</li> </ul> <p>受講者一人ひとりに模擬授業を実施してもらいます。前日までに各自で作成したシラバスとクラスデザインをグループで共有することで、実施する模擬授業の位置付けや内容を明確にし、ピアレビューを実施します。なお模擬授業の様子については、リフレクションのために動画撮影を行います。</p>
		<p>午後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●模擬授業の振り返り①</li> </ul> <p>1回目の模擬授業を終えた率直な感想等をグループ内で共有した上で、シラバスやクラスデザイン、ピアレビューシート、さらには撮影した動画も参照しながら、教員も交えたグループでリフレクションを行います。優れていた点はなぜ優れていたのかその理由や他の授業科目での応用可能性を、修正すべき点はその方法について、ディスカッションを通じて検討し、翌日の第2回目の模擬授業に向けてその知見を共有します。</p>
第4回	3/4 (金) 対面※2	<p>午前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●模擬授業②</li> </ul> <p>前日の振り返り内容を踏まえながら、課題を明確にした上で、第2回目の模擬授業を実施します。第1回目同様にシラバスやクラスデザイン等を共有しながら、ピアレビューを行います。</p>
		<p>午後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●模擬授業の振り返り②・プログラム全体の振り返り</li> <li>●修了証配布</li> </ul> <p>第2回目の模擬授業で課題を改善することができたのか、自己評価とピアレビューにより検討します。そのうえで、大学で授業を行うということについて、何が重要で、具体的に今後どのように準備し、経験を積んでいくのか、4日間の内容全体を振り返りながら検討します。そして最後に修了認定書を授与します。</p>

注) プログラムの詳細や、2日目以降の事前・事後学習等については、初回授業時に連絡します。

※1 3/2 (水) は休みです。各自で3/3 (木) に実施する模擬授業に向けた準備を行います。

※2 川内キャンパスでの実施を予定しています。教室等は初回授業時にご連絡します。

#### 【履修上の注意】

本プログラムは、上記日程の10:00~12:00, 13:00~17:00 (途中休憩有) に実施します。また第1, 2回はオンライン, 第3, 4回は対面での実施を予定しています。オンライン回と対面回とがありますので注意してください。

#### 【修了要件・修了証】

すべての活動に参加し、要件をクリアした受講者には「東北大学 大学教員準備プログラム 修了認定書」を発行します。同認定書はアカデミック・キャリア公募の際、大学での教育経験を示す証明として履歴書等に記載・添付することが可能です。

#### 【使用言語】

日本語を使用します。

## 【経費】

受講に際して特段の費用はかかりません。ただし東北大学川内キャンパス内で実施する対面授業については、これに参加するための交通費が本人負担となります。

## 2. 応募者資格

原則として大学教員志望の大学院博士課程後期の学生（進学予定の学生も含む）、日本学術振興会特別研究員、ポスドク、専門研究員などで、東北大学川内北キャンパスで実施される本プログラムに不都合なく参加できる者。国籍は問わない。

原則として本プログラムのすべてに参加してもらう必要があります。やむを得ない場合は欠席を認める場合もありますが、その場合には代替の課題が課されます。また、不参加が多い場合は修了が認められない場合があります。

また研究活動に支障をきたすことが無いよう、受講に際しては指導教員の許可を必ず得るようにしてください（受講決定後、指導教員の同意書を提出していただきます）。

## 3. 募集人数

25名程度

## 4. 応募期間

2022年1月13日（木）～2月15日（火）17:00 入力締切

## 5. 応募要領

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センターのウェブサイトから「PFFP 大学教員準備プログラム」をクリックし、「2021年度 第2回 プログラムの内容・応募」をクリックし「2021年度 第2回 Tohoku U.PFFP 参加者募集」の「申請はこちらから」へお進みください。

## 6. 受講者の審査・決定

参加申込みフォームにご記入いただいた内容をもとに受講者の審査をさせていただきます。審査の結果は2022年2月18日（金）までに登録いただきました連絡先に通知いたします。

## 7. その他

プログラム参加終了後もOB/OGとして、積極的に広報や運営などにご協力いただける方を募集します。

## 8. 連絡先

〒980-8576 仙台市青葉区川内 41

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター

担当：和田・塚部

（川内北キャンパス 川北合同研究棟 201）

TEL: 022-795-4471 FAX: 022-795-4749

Email: tu-pffp@grp.tohoku.ac.jp

URL: <http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/pffp/>